



●会計監査論

## 水口 剛 教授

### 【みずぐち たけし】

企業勤務、公認会計士、環境 NPO 事務局などを経て、本学教員となった。専門は監査・保証業務、環境情報開示、環境会計、社会的責任投資、NPO 会計など。どれも今動きつつある分野で、自分自身もその流れの中にいる感じ。大学の先生がこんなに忙しいとは知らなかった……。

# 投資家の責任と環境問題

## 私の研究テーマ

私は、今、責任投資 (Responsible Investment) と環境情報の開示という分野を研究しています。それって、一体、何のこと？と思われるでしょうが、これは、地球環境問題などを経済の仕組みの中で解決していこうという考え方です。

異常に暑い夏や豪雨による災害をみれば、これは大変だと思うことでしょう。このような気候変動問題をはじめ、地球環境問題の原因のほとんどは人間の経済活動です。経済活動を中心に担っているのは企業 (会社) で、その企業の活動を支えているのは私たちのお金です。私たちが銀行に預けたお金は、銀行から企業に貸し付けられます。生命保険や年金は、毎月お金を積み立てておいて、いざ、亡くなったり、老後になったりしたら、お金がもらえる仕組みですが、このとき積み立てたお金は企業の株式などを買って運用されています。これを投資といいます。このとき、どの企業に投資するかを判断するための情報が必要です。情報の中心は会計です。

ところが、今の会計は利益の計算はしますが、その企業が地球環境問題にどう対応しているのかは示しません。これでは、経済の仕組みの中で、たとえ環境が悪くても儲かる企業にお金が集まりかねません。そこで、利益だけでなく、環境や社会との関わりも会計やその他の情報として提供すべきではないか、と考えるのです。そしてそのような情報が意味をもつためには、社会にとって本当に良い企業にきちんと投資する投資家が必要です。それが責任投資です。それらがどうすれば社会に定着するかが、今の私の研究テーマです。

## ゼミはこんな感じ

2010年の3年生は、インナー大会というものに挑戦しました。これは、関東地区の大学のゼミが1年に1回集まって、論文を交換し、議論するというものです。当ゼミでは、私の研究テーマと関わる社会的責任投資 (SRI)、企業の社会的責任 (CSR)、再生可能エネルギーという3つをテーマにして、3班に分かれて論文を書きました。2011年は、「大学のCSR報告書をつくる」という新たなプロジェクトに取り組んでいます。

水口先生は、見た目からもわかる通りとても優しく、ゼミ生からの相談もとても親身に応じてくれます。そのため、ゼミ生から信頼され愛される、素晴らしい先生です。また、ゼミでの議論の中では、ゼミ生の意見を尊重し、より深く考えるヒントを的確にアドバイスしてくれるので、とても有意義な時間を送ることができています。

水口ゼミ13期生 (2008年入学) ゼミ長 富井 健太

ゼミ生のひとこと

